



報道発表

平成 30 年 2 月 23 日
東 京 税 関
成 田 税 関 支 署

平成 29 年の成田国際空港における不正薬物密輸入事犯の取締り状況

不正薬物の摘発件数 88 件、押収量約 172kg

平成 29 年中に摘発した不正薬物^{※1}の密輸入事件の内訳は、覚醒剤 68 件/約 164kg^{※2}、大麻 15 件/約 5kg、麻薬 3 件/約 3kg、向精神薬・指定薬物 2 件であった。

その中でも覚醒剤密輸事件は、前年比で件数、重量とも約 2.5 倍に増加し、その押収量は不正薬物全体の 95%を占めている。

◎覚醒剤密輸の動向

- ◆ 覚醒剤の仕出地として、タイ、マレーシア、中国などアジア、中東、欧州、アフリカ、北米及び中南米地域からの摘発があり、仕出地が広範囲に及んでいた。

その手口もスーツケース等の旅行鞆への隠匿工作、体内隠匿、身辺への巻付け、食品への偽装工作など多様な方法を用いて密輸が行われていた。

特異な隠匿手口としては、不織布又はフェルト様の繊維製品に染み込ませた覚醒剤をスーツケース底部や側面部に隠匿工作されていた。

密輸実行者は、カップルなど複数名での密輸や団体ツアーに紛れての密輸が見受けられた。

- ◆ 覚醒剤の仕出地は、アジア地域が多数を占めているが、その中でもタイを仕出国とする航空機旅客からの摘発は 16 件あり、その内、14 人がタイ人によるものであった。

その手口は、リュックサック、ボストンバッグ、スーツケースへの隠匿工作及び嚙下等による体内隠匿であり、同一手口による密輸が複数あった。

※1 覚醒剤、大麻、あへん、麻薬（ヘロイン、コカイン、MDMA等）、向精神薬及び指定薬物をいう。

※2 成田国際空港での最大押収量は、南アフリカ来航空機旅客による覚醒剤約 18 キロであった。

◎その他の密輸の動向

- ◆ 偽造クレジットカードの密輸入事犯の摘発が 18 件、押収量 783 枚であった。密輸形態では、航空機旅客の摘発が 14 件で約 75%を占めた。

- ◆ ワシントン条約該当の動物の密輸入事犯を 1 件告発した。

1. 成田国際空港における密輸事犯摘発状況一覧表

社会悪事犯		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	
							前年比
覚醒剤	件数	82	83	18	28	68	242.9%
	押収量(kg)	269	181	80	72	164	229.5%
	押収量(錠)	0	-	-	-	0	全増
大麻 (樹脂含む)	件数	8	13	15	16	15	93.8%
	押収量(kg)	2	45	1	0	5	1605.7%
あへん	件数	1	0	0	0	0	-
	押収量(kg)	0	-	-	-	-	-
麻薬	件数	66	5	8	10	3	30.0%
	押収量(点)	0	-	-	-	0	全増
	押収量(kg)	1	2	22	24	3	11.8%
ヘロイン	件数	1	1	0	0	0	-
	押収量(kg)	1	0	0	-	-	-
コカイン	件数	2	1	1	3	1	33.3%
	押収量(kg)	0	2	18	24	3	11.8%
MDMA	件数	1	0	0	0	1	全増
	押収量(錠)	0	-	-	-	0	全増
	押収量(kg)	-	0	-	-	-	-
その他麻薬	件数	62	3	7	7	1	14.3%
	押収量(点)	-	-	-	-	-	-
	押収量(kg)	0	0	4	0	0	1.0%
向精神薬	件数	0	0	0	1	1	100.0%
	押収量(錠)	-	-	-	0	-	全減
	押収量(kg)	-	-	0	-	0	全増
指定薬物	件数			2	8	1	12.5%
	押収量(kg)			0	0	0	11.8%
合計	件数	157	101	43	63	88	139.7%
	押収量(kg)	272	228	103	96	172	179.3%
	押収量(点)	0	-	-	0	0	25.8%
銃砲類	件数	0	0	0	1	1	100.0%
	押収量(丁)	0	0	0	1	1	100.0%
総摘発件数		157	101	43	64	89	139.1%

* 1. 1件の摘発で犯則物件が複数の場合は、件数は主たる事犯に、数量はそれぞれの欄に計上した。

また、税関が摘発した密輸事件に係る押収量の他、警察等他機関が摘発した事件で税関が当該事件に関与したものに係る押収量を含む。

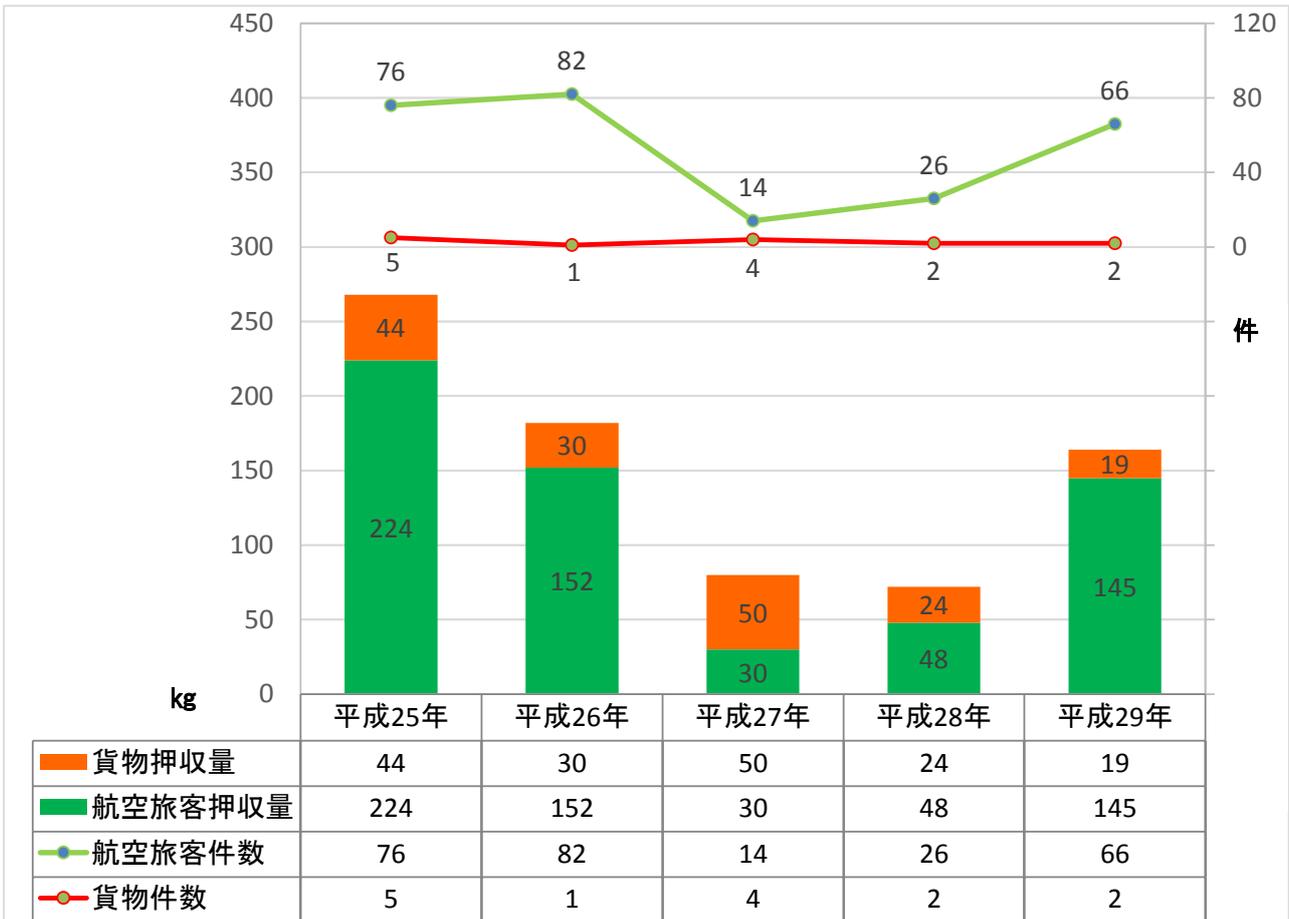
2. 覚醒剤は、覚醒剤及び覚醒剤原料の合計数量を示す。

3. MDMAは、MDMA及びMDA等の合成麻薬の合計数量を示す。

4. 薬物の数量表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全くない場合を示す。

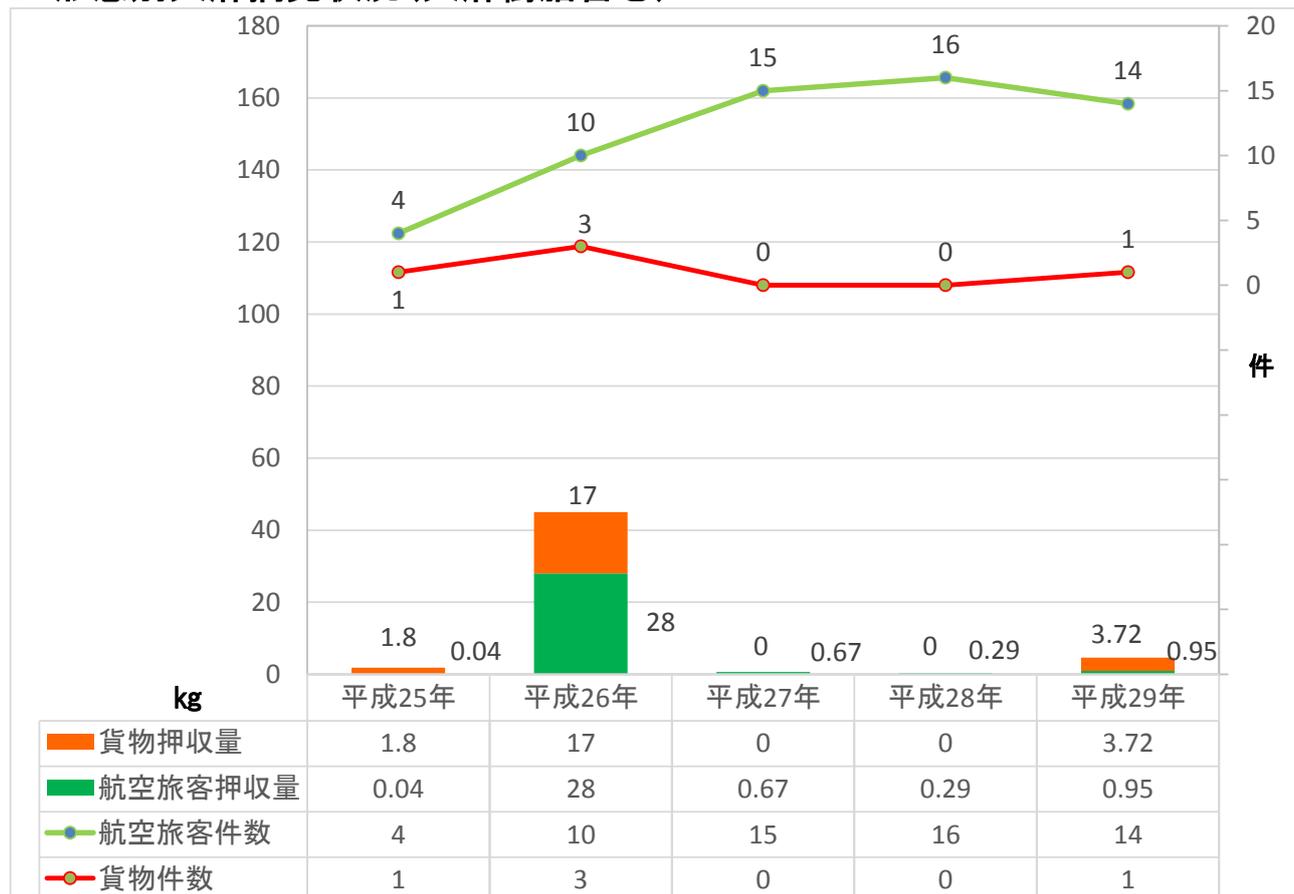
また、端数処理している為、比率や合計値が合わないことがある。

2. 形態別覚醒剤摘発状況(推移)



※なお、郵便による摘発は、平成25年1件

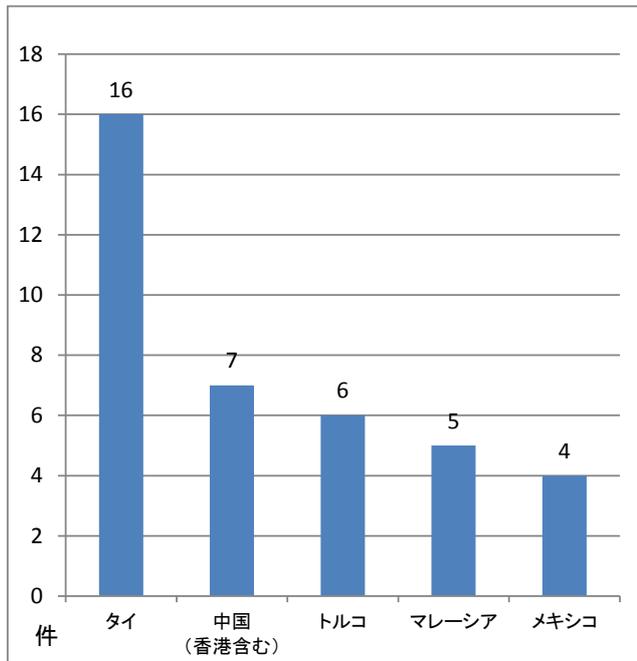
3. 形態別大麻摘発状況(大麻樹脂含む)



※なお、郵便による摘発は、平成25年3件

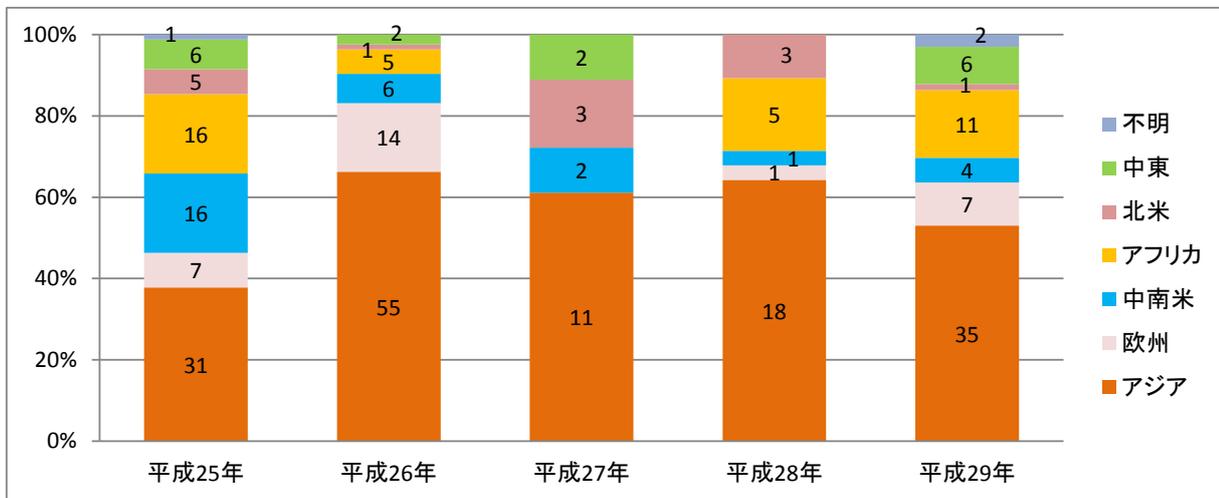
4. 覚醒剤の仕出地別摘発状況

●仕出地別摘発件数上位

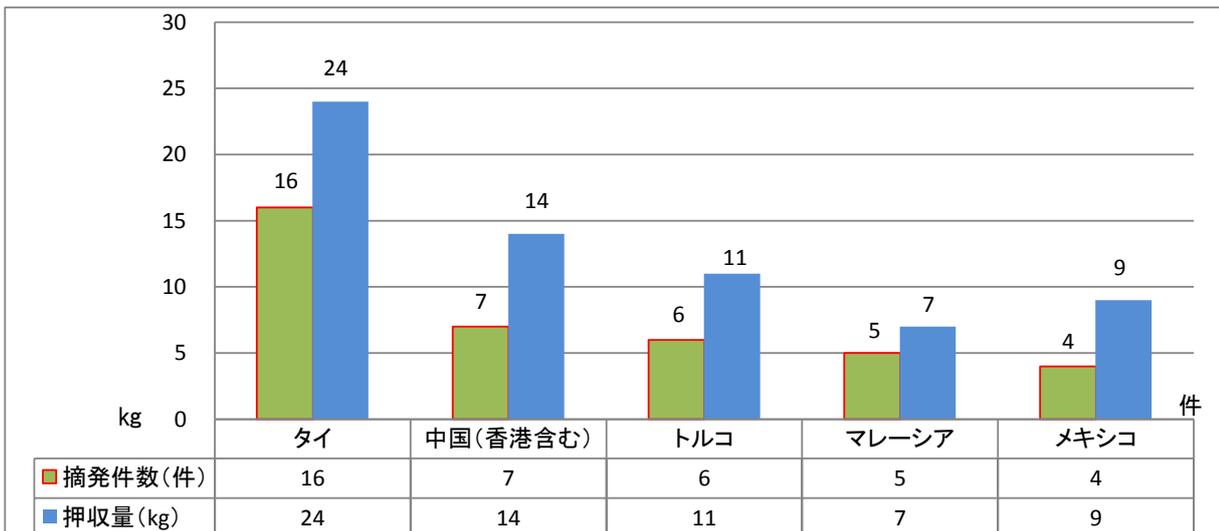


地域	国	件数
アジア (35)	タイ	16
	中国	7
	(香港)	(6)
	(中国)	(1)
	マレーシア	5
	インド	3
	カンボジア	2
アフリカ (11)	ベトナム・台湾	2
	ウガンダ	3
	ケニア・ペナン・南ア	6
欧州 (7)	ガーナ・ガンビア	2
	ドイツ 外	7
中東 (6)	トルコ	6
中南米 (4)	メキシコ	4
北米 (1)	カナダ	1
合計 64件 (不明2件)		

●仕出地域別摘発件数の推移

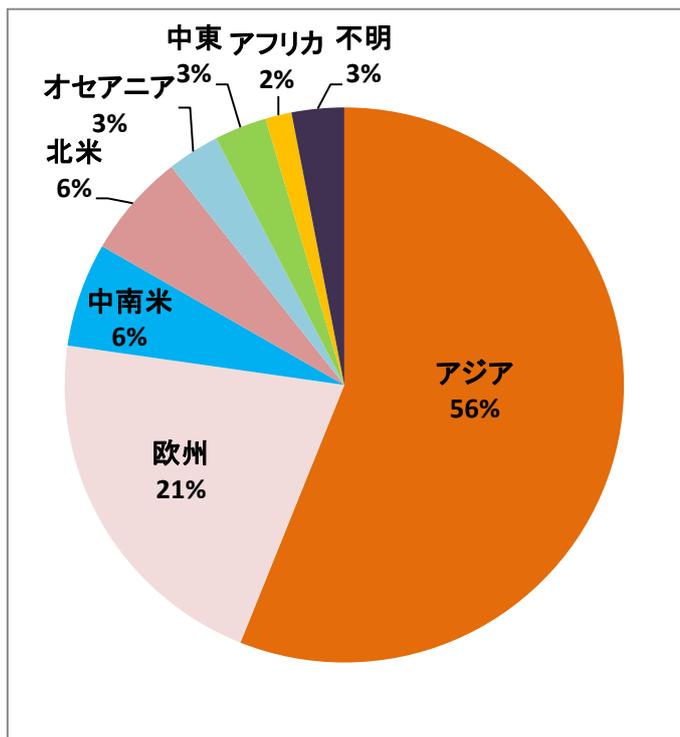


●仕出国別押収量(摘発件数上位5か国・地域)



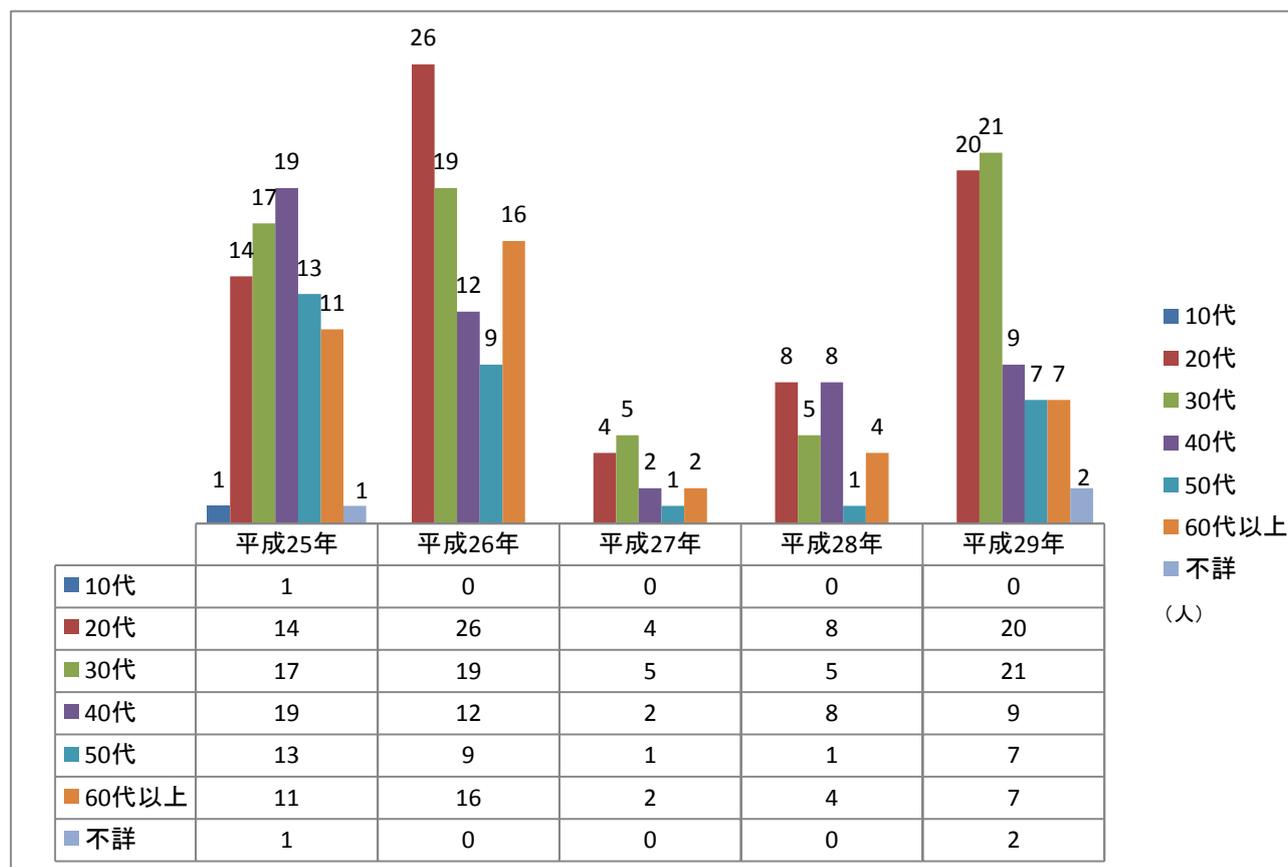
5. 覚醒剤密輸実行犯内訳【旅客】

●国籍別摘発状況



地域	国籍	人数
アジア (37)	タイ	16
	マレーシア	7
	香港	6
	日本	4
	台湾・韓国 外	4
欧州 (14)	ドイツ	5
	イギリス 外	9
中南米 (4)	メキシコ	4
北米 (4)	カナダ・アメリカ	4
オセアニア (2)	オーストラリア	2
中東 (2)	イラン・トルコ	2
アフリカ (1)	ウガンダ	1
合計		64名 (不明2名)

●年代別摘発状況



平成29年の成田国際空港における摘発事例

～ タイ来覚醒剤密輸入事犯 ～

【平成29年4月】
タイ来航空機旅客
ネックピローに隠匿されていた
覚醒剤(約5kg)を摘発



【平成29年7月】
タイ来航空機旅客
スーツケースの側面部分に隠匿されていた
覚醒剤(約3kg)を摘発



【平成29年11月】
タイ来航空機旅客
体腔内に隠匿されていた
覚醒剤(約300g)を摘発



【平成29年11月】
タイ来航空機旅客
リュックサック側面部分に隠匿されていた
覚醒剤(約1.5kg)・コカイン(約200g)を摘発



～ マレーシア来覚醒剤密輸入事犯 ～

【平成29年10月】
マレーシア来航空機旅客
スーツケースの側面部分に隠匿されていた
覚醒剤(約4kg)を摘発



【平成29年10月】
マレーシア来航空機旅客
スーツケースの側面部分に隠匿されていた
覚醒剤(約3kg)を摘発



～ 中国来覚醒剤密輸入事犯 ～

【平成29年9月】
中国来航空機旅客
お茶缶に隠匿されていた覚醒剤(約2kg)を摘発



～ 南アフリカ来覚醒剤密輸入事犯 ～

【平成29年7月】

南アフリカ来航空機旅客

コーヒー袋等に隠匿されていた覚醒剤(約18kg)を摘発



～ メキシコ来覚醒剤密輸入事犯 ～

【平成29年11月】

メキシコ来航空機旅客 2名

スーツケースのハンドル部分に隠匿されていた覚醒剤(約1.5kg)を摘発



～ 特異な隠匿の覚醒剤密輸入事犯 ～

【平成29年12月】

トルコ来航空機旅客

スーツケース底部等に不織布又はフェルト様の繊維製品に染み込ませ隠匿

覚醒剤(約1kg)を摘発



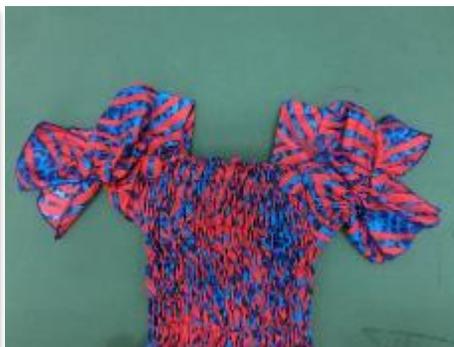
～ 巧妙な隠匿の覚醒剤密輸入事犯 ～

【平成29年12月】

スイス来航空機旅客

衣類に縫い付けてあるボタンに隠匿

覚醒剤(約0.5kg)を摘発



～ 航空機旅客による摘発事例 ～

【平成29年9月】

マレーシア来航空機旅客

ぬいぐるみに隠匿されていた偽装クレジットカード(49枚)を摘発



【平成29年4月】

タイ来航空機旅客

着用コルセット内に隠匿されていたレッサースローロリス【ワシントン条約附属書 I】(4匹)を摘発

